

# 女子美とフランス

女子美術大学創立125周年記念展

— もうひとつの日仏交流史



うるわしの思い出



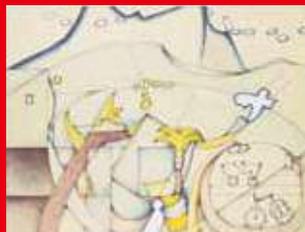
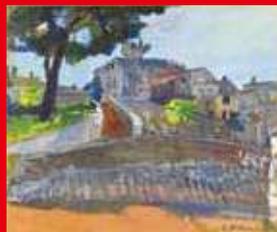
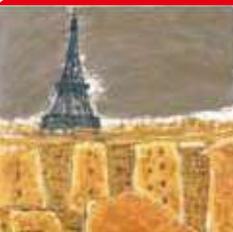
Commemorative Exhibition of the 125th Anniversary of  
Joshibi University of Art and Design

## Joshibi and France

Another Story  
between France and Japan

入館料無料 / Free Admission

*Qu'il était beau mon village*



2025 5/29 [木] — 8/5 [火]

【開館時間】10:00~17:00(入館は16:30まで) 日曜・祝日休館 ただし、7月20日(日)・21日(月・祝)は特別開館

【主催】女子美術大学 女子美術大学美術館 【協力】蕪崎大村美術館 【後援】相模原市 相模原市教育委員会

Thursday, 29 May — Tuesday, August 5, 2025 / 10:00-17:00 (admission until 16:30)

Closed on Sundays and national holidays

However, the museum will be open on July 20 (Sun) and 21 (Mon, national holiday).

Organized by : Joshibi University of Art and Design and Joshibi Art Museum Cooperated by : Nirasaki Omura Art Museum

Supported by : Sagamiara City, Sagamiara City Board of Education

左より：三岸節子《エッフェル塔》1985年、森田元子《バリの少女》1961年、  
桜井悦《カーニユの城(南仏)》1956年\*、嶋田しづ《プロバンスの峰 流れる雲》1973年\*、  
岡田節子《坂のある町カーニユ(南仏)》1956年\*、

月館れい《黒い果実のある》1988年  
\*は蕪崎大村美術館蔵、無記載は女子美術大学美術館蔵

Joshibi Art Museum

女子美アートミュージアム

女子美術大学創立  
125周年記念展

# 女子美とフランス

Commemorative Exhibition of the 125th Anniversary of Joshibi University of Art and Design  
Joshibi and France—Another Story between France and Japan  
— もうひとつの日仏交流史

とりわけ第二次世界大戦以前には芸術の都と謳われたパリ、あるいはフランスは、憧れの地として、  
数多くの日本人美術家たちを一世紀以上にわたって惹きつけてきました。そして、希望とともに渡仏した  
美術家たちの中には、1900年に開校し日本における女性の美術教育の先駆となってきた、女子美術大学の卒業生たちの姿も見出せます。  
女子美術大学創立125周年を記念する本展では、大学美術館ならびに相互協力協定館である葦崎大村美術館の収蔵品から、  
フランスに魅せられた卒業生たちの作品を選びすぐにご紹介します。フランスに学び、女子美の歴史を綺羅星のごとく彩る卒業生や、  
「女子美パリ賞\*」受賞者の作品は、女性美術家の存在を通じた日仏文化交流史という、新たな歴史の地平をも開くことでしょう。どうぞご期待ください。

※女子美術大学100周年記念大村文子基金「女子美パリ賞」は、創立100周年を記念して創設された褒賞制度のひとつ。女子美卒業生・修了生ならびに大学院在学学生を対象とし、毎年1名の受賞者は、パリの国際芸術都市で1年間の研修滞在を行う。



栗原喜依子  
《祈る人(チュニジア)》  
制作年不詳\*



ヒジカタ トモコ  
《Ciel rouge(赤い空)》  
1999年



野口香子  
《Untitled #15》  
1999年



野村千夏  
《月とダンス》  
2006年



橋本美智子  
《無題》  
2003年



松山聖子  
《いばら(Briers)》  
2005年



高木彩  
《Trace-痕跡》  
2008年



鈴木綾子  
《カーテン No.5》  
2007年



新津亜土華  
《Break the Gold Chain  
That I Gave U》  
2010年



保科晶子  
《Combinaison  
(シュミーズ)ーシリーズ  
「Des funéraires(儀式)」より  
2009年



いしばし めぐみ  
《とあるけしき》  
2011年



田口一枝  
《Silver Silence》  
2011年



松沢真紀  
《いのり》  
(2点組のうち1点)  
2011年



井上織衣  
《Racinoypiale II》  
2014年



藤倉明子  
《still forest》  
2014-15年



上岡ひとみ  
《Under Control》  
2016年



おとわ はるか  
《Playing Flags》  
(8点組のうち1点)  
2016年



中村菜都子  
《Expand mamos meus ad te  
(わたしはあなたに向かって  
両手を広げ)》  
2017年



井上麻由美  
《いのちの糸-Guy #1》  
2019年



角谷沙奈美  
《On the Way》  
2021年



國吉晶子  
《Through the Blue Curtain》  
2024年

## 【関連イベント】

**講演会** いずれも14:00~15:30

5月31日(土)「女子美とフランス一日仏交流のアナザー・ストーリー」

講師：三谷理華(当館館長・本学教授・本展企画者)

6月21日(土)「女子美をつくった横井玉子と佐藤志津一浅井忠から見えてくる風景」

講師：貝塚健氏(千葉県立美術館館長)

**ギャラリートーク** いずれも展示室入口集合/20分程度を予定

7月5日(土) 14:00~ エドゥケーターによるギャラリートーク

7月21日(月・祝) 11:30~ 館長(本展企画者)によるギャラリートーク

**ワークショップ** ※要事前申込

8月2日(土) 14:00~ 本学学生によるワークショップ

**スペシャル・イベント** ※要事前申込

7月21日(月・祝) 14:00~

スペシャル・ライブ「元宝塚歌劇団月組トップスター 古城都 パリを謳う」(仮)

ピアノ：サイモン・コスグローブ(本学准教授)

- 無記載の場合、会場は「1011スタジオ」(相模原キャンパス10号館1階)、事前申込不要となります。
- 事前申込を要する場合、申込方法は当館ウェブサイトをご確認ください。
- 各イベント詳細については、決定次第随時、当館ウェブサイトでお知らせします。

最新情報は当館ウェブサイトをご確認ください



\*は葦崎大村美術館蔵、無記載は女子美術大学美術館蔵 左上：国際芸術都市外観

## 女子美アートミュージアム 入館料無料

〒252-8538 神奈川県相模原市南区麻溝台1900  
(女子美術大学相模原キャンパス10号館1階)

Joshibi Art Museum

1900 Asamizodai, Minami-ku, Sagami-hara, Kanagawa 252-8538, Japan  
(Joshibi University of Art and Design, Sagami-hara Campus, Building No. 10, 1F)  
Tel: 042-778-6801 URL: <https://www.joshibi.net/museum/>

交通案内

- ①小田急線相模大野駅北口3番バスのりばから神奈川中央交通「女子美術大学」行き終点下車(約20分)※平日・土曜日午前10時前はグリーンホール前4番バスのりばから乗車
  - ②JR横浜線古淵駅2番バスのりばから神奈川中央交通「女子美術大学」行き終点下車(約15分)
- ◎車でご来館の方は隣接する市立相模原麻溝公園内の各駐車場をご利用ください。

